

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民福祉部 長寿課	内線等	2122
事務事業名	緊急通報装置整備事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	蒲郡市緊急通報装置設置事業取扱要綱		Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	概ね65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみ世帯に対し
手 段	緊急通報装置を貸与することにより
想定する成果	急病や災害等に迅速かつ適切な対応ができるようシステム化する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
貸与世帯	681世帯	656世帯	696世帯
事業費	12,117千円	12,794千円	13,343千円
一人暮らし老人+高齢者世帯	3,508世帯	3,600世帯	3,847世帯

成果指標名	一人暮らし世帯等への貸与率	世帯あたりの年間事業費
成果指標の説明	貸与世帯 / 対象世帯	事業費 / 貸与世帯

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		19.4%				18.2%				18.1%			
成果指標		17,793円				19,503円				19,171円			
事業費	事業費	12,117				12,794				13,343			
	人件費	778				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0
	合計	12,895				14,356				14,912			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	12,895				14,356				14,912			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	1	設置時期により予算どおりの計画的な設置が困難
経済効率性	2	2	2	2	緊急装置を買取しており、耐用年数を過ぎた機器は取り替える必要がある。
事務効率性	2	2	2	2	消防本部との連携することにより円滑に運用しているが、取りはずしは職員でまかなっている。
必要性	3	3	3	3	ひとり暮らし高齢者等の安心及び緊急時の対応に役立っている。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	市民からの利用申込みに対してサービス提供しているが年々増加傾向にある。
合計	11	9	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	ひとり暮らし高齢者の安否確認や緊急時の対応として必要である。
------	---	---	---	---	--------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
機器の維持管理費用が設置台数が増えるとともに増加しており、コスト軽減を図りたいと考えている。緊急通報装置は買い取りして貸与しているが、機器をリースにより貸与できないか検討していきたい。
上記改善点の実施状況
平成21年度より、新規業者を開拓し、よりコストの削減を図りたい。

今後さらに改善すべき点

緊急通報装置としての性能のUP、誤報のより少ない機種への転換を図る。

平成21年度予算に反映する項目

センターシステムの更新及び新機種の購入

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

